

開催趣旨

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センターでは、恒例の第21回京都研究会2019-2020を開催することになりました。研究会のテーマは「ICTによる地域からのSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて」です。

SDGsは、私たち一人ひとりにとって、地域社会にとっても、経済活動においても、そして国や地方自治体においても、喫緊の課題となっています。2015年の国連総会において決議され、世界各国が合意した国連の「アジェンダ2030」は、17の持続可能な開発目標を掲げて、2030年にはその目標達成を求めています。そこには、貧困や福祉、健康、人権、平和の達成から、地域のレジリエンス、水や緑の環境問題解決、地球温暖化への対応、また産業やエネルギー、インフラなどの問題に対する革新的な観点からの解決などを、パートナーシップ（協働）の観点から実現するよう求めています。

私たちSCCJは、その創設時から、持続可能なコミュニティをICTの技術革新によって実現するべく活動を続けてきました。そしてそれが今や世界的な課題とされるようになってきています。もちろん地球規模の問題も、地域での活動がなければ解決できないのです。

第21回京都研究会2019-2020においては、こうした観点からICTによるSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて、私たちが地域から何ができるのかを、多面的に探してみたいと思います。

皆様方とともに、持続可能なコミュニティやその実現の方法を考えてみたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新川 達郎

ICTによる地域からのSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて

第21回京都研究会

<http://www.sccj.com/kk/2019-2020>



Sustainable Community Center Japan

2020年1月17日（金）
13時～17時

同志社大学烏丸キャンパス
志高館SK289教室

※事前申込先着順



研究会

13:30～17:30

● 持続可能な開発目標(SDGs)の達成のためのICTによる地域イノベーション

■ 演者：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）

● 越境する交流～小さな行動が起こすイノベーション～

■ 演者：畑井 克彦 氏
（阪神・智頭NPOセンター代表理事）

● 耐久消費財のSDGs～家具のサービス事業化とは～

■ 演者：竹原 司（株式会社ファーマティジ代表取締役社長/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

● ポケットカルテ最新情報

～マイナポータルとの連携による住民健診データの利活用を中心に～

■ 演者：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問）

● 【会場参加者・演者を交えた総合討論会】

「ICT達成による地域からのSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて」

■ コーディネータ：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）

■ 登壇者によるパネルディスカッション

※ 演題名は変更の可能性があります。

演者を交えた分科会(茶話会)

閉会后～18:30

同会場にて開催

主催：特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター（SCCJ）

後援：京都市、ITコンソーシアム京都

会場地図



● お申し込み：下記ホームページからお申し込み頂けます。

<http://www.sccj.com/kk/2019-2020> ※事前申込制

● 参加費：有料

プラン	対象	対象	
		一般	SCCJ会員 (企業・団体/個人)・学生 および地方公共団体職員の方
研究会のみ参加 (13:30～)		1,000円	無料
研究会、懇親会すべて参加 (閉会后～18:30)		2,000円	1,000円

※一般参加費の1,000円とSCCJの個人会員の年会費1,000円は同額ですので、参加費用としてではなく、SCCJ個人会員としてお支払いされることをお奨め致します。

お問い合わせ：SCCJ E-mail: info@sccj.com